

なる箇所までくまなくブラッシングすることができれば、スコープの清浄度が更に向上することが期待できる。

【まとめ】

手技改善後5ヶ月しか経過しておらずATP値の継続的な観察が必要である。残存した蛋白汚れが細菌繁殖の原因になることも懸念されており、今後は感染管理の観点からも全ての検査部位で100RLU以下になるよう努めていきたい。

【参考文献】

- 1) 谷道清隆：第76回日本消化器内視鏡技師会ランチョンセミナー消化器内視鏡洗浄におけるATP+AMPふき取り検査の活用事例
- 2) オリンパス株式会社：上部消化管汎用ビデオスコープ取扱説明書（洗浄/消毒/滅菌編）
- 3) 日本環境感染学会：消化器内視鏡の感染制御に関するマルチソサエティ実践ガイド（改訂版）
- 4) 日本消化器内視鏡技師会：内視鏡の洗浄・消毒に関するガイドライン（第2版）
- 5) 大圃研 編、佐藤貴幸・志賀拓也 著：消化器内視鏡の機器・器具・デバイスはこう使い！（2017年10月15日第1版第1刷発行）
- 6) 大久保耕嗣、山川良一：ATPおよびアミドブラック10Bを指標とした上部消化管内視鏡洗浄効果の比較（環境感染 Vol.20 no.3,2005）

【連絡先：〒811-3431 福岡県宗像市田熊5丁目5-3 宗像医師会病院 臨床工学科

TEL：0940-37-1188 Mail：kougaku1@munakata-med-hp.gr.jp】

3. 内視鏡センターにおける学生実習の充実

～指導項目チェックリストを作成して～

社会医療法人 製鉄記念八幡病院

○都留美登里 村上 真有 小野美登利 井上 聖

【はじめに】

当院は看護学校を併設しており、2年生の学生は外来実習（婦人科実習）の一環として内視鏡センターに1日の見学実習をしている。

平成26年に看護学校の作成している指導要項・看護技術の経験リストを確認し内視鏡センターで見学の必要な実習指導案を作成した。学生指導の担当者はその日によって異なり、

指導内容を表記した物は、指導案しかなかった。実習後の学生の理解度を評価したところ、指導者によって指導内容に相違が見られ、一貫した指導ができていないことがわかった。外来実習や内視鏡センターでの実習に関する先行研究や文献がなかったため指導者用チェックリストを独自に作成することとした。

【研究方法】

1. 対象 内視鏡センタースタッフ、看護学生
2. 期間 平成28年11月～平成29年12月

【倫理的配慮】

- ・ 研究対象者に対して、対象者が特定できる匿名性や機密性を確保する。
- ・ 研究対象者に対して、個人情報や秘密保持などプライバシー保持への配慮を行う。
- ・ データ収集に関して個人情報保護法を遵守した情報の管理を行う。

【実施及び結果】

平成27年度より学生指導を指導案に基づき指導を行ってもらった。平成29年度は指導者用チェックリストを使用し指導を行ってもらった。

実習の理解度を評価するためのキーワードを以下の①～⑤に決めた。

- ① 内視鏡検査の実際（消化器疾患の解剖生理、主な症状、治療、処置、検査の流れ）
- ② 内視鏡検査を受ける患者の苦痛
- ③ 内視鏡センターの看護の特徴とその実際（役割）
- ④ 内視鏡センターにおける医療安全対策の実際
- ⑤ 内視鏡機器取り扱いと感染対策

①から⑤の内容が「学んだ」「分かった」と記述されているかで評価した。

チェックリスト作成前（平成27年11月から2月）

チェックリスト作成後（平成29年11月から2月）の記録を比較した。

【考察】

川本¹⁾は、実習指導を進める上では教育的環境づくりをしていかなければならない。そのためには指導内容・指導方法・指導体制の充実と指導者の指導能力の向上が必要である。そのためにはそれぞれの教育機関、実習施設が独自に望ましい条件を持ち、継続的、組織的に取り組む必要があると述べている。指導を進めていると具体的にどこまで指導したらいいか、よい指導法はどんなものか、など指導者として様々な問題点に突き当たる。内視鏡センターは、正社員4名とパート看護師6名で構成されており学生指導に対する認識が

異なる。外来実習は、そのほとんどが見学実習であり、見学を行いそのことについて説明聞くことが多い。説明内容は、スタッフの内視鏡センターでの経験値によっても異なると考えた。チェックリスト作成前後で、キーワード①②④⑤については、どちらも記述がほぼ100%になっている。チェックリストで説明内容を具体的にあげたため学生の理解ができた。キーワード③については、50%の記述に留まっている。記述の割合が50%にとどまったのは、説明はしているが、説明内容の項目が足りないと考えられ、内容の検討が必要である。1日の実習であるが、様々な経験を持ったスタッフが統一された指導を行うためには、簡単に見て指導が行える形の指導チェックリストの作成は、有効であった。

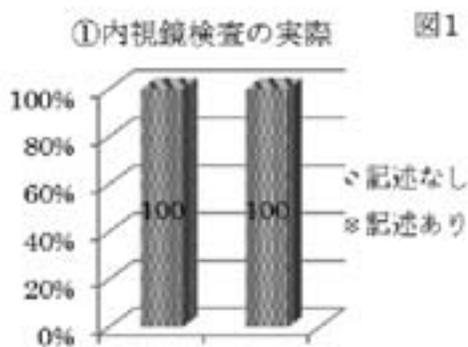
【終わりに】

今回、このチェックリストを作成しスタッフの学生指導への認識が高まった。内視鏡センターの看護の特徴とその実際は、チェックリストの再検討が必要である。また今後指導を受ける学生の意見を聞き改善していきたい。

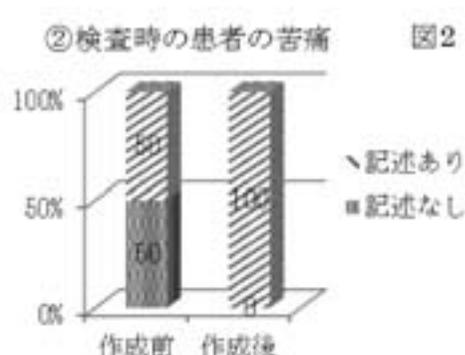
【引用文献・参考文献】

- 1) 川本利恵子 臨地実習指導ナビゲーター 2013年
- 2) 埼玉医科大学短期大学 看護学科
看護学生の外来・検査・治療部門の見学実習の学び

【連絡先：〒805-8508 福岡県北九州市八幡東区春の町1-1-1 TEL：093-672-3176】



チェックリスト作成前も作成後も100%の記述がみられた。



チェックリスト作成前50%から作成後100%の記述がみられた。